



伊藤 春美 議員



### 街灯、防犯灯設置の充実について

**問** 津波避難道路横根三川線の県道飯岡片貝線から飯岡中学校までに、道路照明灯や防犯灯

**答** 防犯カメラなどの設置による安全対策の計画はあるか。

**答** 今年度は、県道との交差点部に1基、曲線部に2基の道路照明灯の設置を予定しており、年度末までの完成を目指している。



津波避難道路横根三川線

**問** 防犯灯の設置は、地域によって差が生じていないか。

**答** 地域差というものはないと考えられるが、毎年の区長会総会にて全地域の区長にLED防

犯灯事業についての申請期限、灯具設置予定、通電予定などの案内をしている。

**問** 防犯灯設置までの流れを伺う。

**答** 防犯灯の設置申請受付は基本的に4月から8月末日。

その後、設置場所の現地確認を行い、灯具の設置は翌年の1月末日、通電は3月末日となっている。

### 乳幼児の虫歯予防(フッ素塗布)の充実について

**問** 乳幼児期の虫歯予防の支援体制、特にフッ素塗布の実施状況について伺う。

**答** 1歳6か月児、2歳児、3歳児健康診査で歯科診察を実施し、2歳児健診では、希望者に無料でフッ素塗布を行っている。永久歯の生え始める5歳頃には保育所等で年2回、歯科衛生士による巡回歯磨き教室を実施している。

**問** 1歳から3歳児を対象にフッ素塗布の無料券を配布し、定期的なフッ素塗布を行っている自治体がある。予防、また経済的な格差が出ないよう本市でも無料配布はできないか。

**答** 定期的なフッ素塗布への公的助成の実施は、今後、調査研究を進めていく。

### 市の発展のために

**問** 女性が活躍できる環境づくりについて、我が国では、長い間男性社会と言われてきたが、法律や政策の後押しなどにより、これからは男女の就業機会の均等

が進み、女性活躍の場が広がっていくことが予想される。女性活躍推進法が改正され令和8年度から女性管理職の比率などの情報公表が企業の義務になる。これらに対して、市ではどのように対応していくのか伺う。

**答** 女性が能力を最大限に発揮し、活躍できる環境を整備することは、地域経済の持続的な発展のため必要となる。市としては改正法の趣旨を踏まえ、市内の中小企業が円滑に対応、推進できるように県や商工会のほか関係団体と連携し、分かりやすい情報の提供と周知を図っていく。

**問** 企業は女性管理職特有の優れたコミュニケーション能力の高さや、仕事を円滑に回すた

めにも女性の柔軟性が大変役立つと大きく評価しているが、残念ながら女性の管理職が少ないのが現実。その理由の一つは女性が活躍しやすい環境が整っていないことがある。子育てには大きな負担がかかり、それをサポートする福利厚生は十分でなく、そして最大の理由は男性と同じように働かなければ昇進させないという日本の人事制度にあると言われている。そこで、市内の中小企業者に対し市の政策として有望な企業を育成させるため、人材育成するための人件費の補助、経営者への助言などを対象にした補助金などで市が支援すれば女性が安心して働ける環境が整っていくと思うが、市の考えを伺う。

**答** 人材育成のための人件費補助や経営者への助言を対象とした補助金による支援は、女性が安心して働ける環境整備を後押しする有効な手段であると認識している。また、提案のあった助成事業は企業の成長と女性活躍支援を両立させる施策となりうるので、持続可能で効果的な支援について研究していく。

### その他の質問事項

○テレワーク就業入門&デジタルスキルアップセミナーについて



宮澤 芳雄 議員

